

「第三次小牧市環境基本計画」の見直しに向けた

小牧の未来の環境を語ろう！

高校生ワークショップ

実施結果報告書

令和6年3月

目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1 小牧市高校生ワークショップの概要..... | 1 |
| ・ワークショップの目的..... | 1 |
| ・開催日時・討議テーマ・参加者..... | 1 |
| 2 小牧市高校生ワークショップのまとめ..... | 2 |
| ・ワークショップ..... | 2 |
| ・今後に向けて..... | 12 |

1 小牧市高校生ワークショップの概要

ワークショップの目的

現在、本市では第三次小牧市環境基本計画の改定作業を進めており、市民の声を計画に反映させる一環として、将来を担う若い世代の意見やアイデアを募ることを目的にワークショップを開催した。

カーボンニュートラル実現の目標年次である2050年には40代となり、我が国を担う世代である市内に在住または在学する高校生と、ZOOM（WEBミーティングシステム）を活用したグループワークによる意見交換を行った。

開催日時・討議テーマ・参加者

| 開催日時 | 討議テーマ | 参加者数 |
|--------------------------------------|---|--------------------------------|
| 令和6年 3月7日（木） 16時15分～ 17時45分 | 1 身近な環境の良いところ、改善したいところ 2 効果的な情報発信方法の立案 | ●学生 19名 ●事務局 3名 ●コンサル 4名 |

【参加学校（計19名）】

市内高校4校：小牧高等学校（6名）、小牧南高等学校（5名）、小牧工科高等学校（5名）、
誉高等学校（3名）

2 小牧市高校生ワークショップのまとめ

■ ワークショップ

- | | |
|------|--|
| ■日 時 | 令和6年3月7日（木）16時15分～17時45分 |
| ■参加者 | 高校生19名（小牧高等学校（6名）、小牧南高等学校（5名）、 小牧工科高等学校（5名）、誉高等学校（3名） 事務局（環境対策課職員）3名 コンサルタント（ナレッジリーン）4名 |
| ■方 法 | ZOOMブレイクアウトルームを使用したグループワーク |

■ 実施プログラム

- 1 開会あいさつ【事務局】
- 2 ワークショップ概要説明【コンサルタント】
 - 小牧市の環境に関する取組み・方針について
 - 討議テーマについて
- 3 グループセッション（自己紹介・意見交換）【3グループ：A、B、C】
 - テーマ1 身近な環境の良いところ、改善したいところ
 - テーマ2 効果的な情報発信方法の立案
- 4 各グループの意見発表【コンサルタント】
- 5 閉会あいさつ【事務局】

説明スライド

●スライド1

「第三次小牧市環境基本計画」の見直しに向けた

小牧の未来の環境を語ろう！ 高校生ワークショップ

小牧市市民生活部環境対策課
株式会社ナレッジグリーン

●スライド3

●小牧市の環境に関する取組み・方針

- 小牧市では「第三次小牧市環境基本計画」という小牧市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では自然と人が共生するまちの実現に向けて様々な活動内容を定めています。

↓

- しかし、近年の環境問題をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）
 - ・気候変動への適応（豪雨被害や熱中症などに備えること）
 - ・資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題
 - ・持続可能な開発目標（SDGs）など

●スライド5

● 本日の討議テーマ その1

身近な環境について 良いところ、改善したいところ

↓

- 知っている、身近に感じている環境問題
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がってほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
環境について、感じることを、思うことを
自由に意見してください。

●スライド2

高校生ワークショップ ●本日のスケジュール

| | |
|-------------------------|-------|
| 1 開会あいさつ | 5分程度 |
| 2 討議テーマについて | 80分程度 |
| (1) 討議テーマについてのスライド説明 | 5分程度 |
| (2) グループセッション：自己紹介・意見交換 | 60分程度 |
| (3) 各グループの意見発表 | 15分程度 |
| 3 閉会あいさつ | 5分程度 |

●スライド4

● 皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックごみなどの問題、生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、みどりの減少、大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす小牧市は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「市民・事業者・市あらゆる主体が協働して環境創造に取組むまち」
「人と自然と産業が調和する共生のまち」
「地球にやさしい循環のまち」

そんな小牧市をみなさんと一緒に未来へつないでいきたい
そのために、**若いみなさんの声**を聴かせてください

●スライド6

● 本日の討議テーマ その1

■環境基本計画のカバーする分野として

| | |
|--------------------|---|
| 地球温暖化対策 気候変動 | 二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、省エネ・節電、デコ活、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林吸収、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など |
| ごみ 資源循環型社会 | ごみ減量、ごみの分別、使い捨てプラスチック、資源ごみ、リサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など |
| 生物多様性 (自然・みどり) | みどりの減少、里山、神社仏閣の樹林、小牧山、小牧山城、大山川、マメナシ自生地、ふれあいの森、ホテル、水辺、希少な動植物、外来生物、自然とのふれあい など |
| 快適な生活環境 (安心・安全) | 大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、まちなみ景観 など |
| 人づくり 基盤整備 | エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境講座、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など |

●スライド7

● 本日の討議テーマ その2

小牧の環境をより良いものにしていくためには、行政だけでなく、市民や事業者の協力が不可欠

- 省エネ行動やごみの減量化や分別などの日常的な環境活動については、習慣として定着している。
- 地域ぐるみでの環境活動については、参加率が約3割以下で低い。



● マンパワーを必要とする環境活動や、より積極的な省エネ行動やごみ減量活動を進めていくためには、参加率の向上に向けた工夫が必要

●スライド9

● 本日の討議テーマ その2

■ なぜ環境活動に参加しないのか？ (ナレッジリーンの調べ)

| 価値観・ライフスタイル | 活動内容・活動のイメージ |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 若年・中間世代の働き方が多岐になり、活動に時間がない。 ● サラリーマンなど制約の環境について知る必要性がない。 ● 環境に対する認識が低い。 ● 環境活動に参加することが自体がイヤだ。 ● 環境活動は男性がするものという固定観念がある。 ● 地域ごとに生活圏や行動範囲が異なる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自分には関係ない問題で、他人様の問題。 ● 今の人は自然を知らない、害のつくりも自然と切り離されている。 ● 自治会に入人数が少なくなっているなど、市民の地域への関心が低い。 ● 集合住宅の居住者は地域の活動に参加してこない。 ● 自分がやらなくても誰かがやってくれるとあっている。 |
| 情報発信 | 参加するまでのプロセス |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 人手・時間の問題があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。 ● 市のホームページから情報が届きにくい。 ● 市広報以外からは情報が伝わらない。 ● 情報が届けば、自ら情報を検索しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 活動の成果が見えない。また、成果があっても認知していない。 ● 広報で集客をかけても参加者が集まらない。 ● 世代によって情報伝達に格差(メディアの活用機会)がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 活動が楽しくない、楽しめない。 ● 環境活動の敷居が高い。 ● 満足回収などお金になる活動はしてくれないが、環境の活動はしてくれない。 ● 専門的な活動のイメージがある。 ● 一度参加すると、抜けられないイメージがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 無理では活動に乗ってこない。 ● 自分の家の周りは草むしりや書物などをやるが、地域の活動には参加しない。 ● 人手・時間の問題があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。 ● 環境活動は難しそうで、参加に及び難くなる。 |

●スライド11

● 本日の討議テーマ その2

アイデア出しのヒント

楽しい、面白い、満足感(メリット)が得られる、継続できる、仲間に参加できる

子どもが興味を持つ活動
家族で参加できる活動
友達同士で参加できる活動

環境+a(スポーツ、グルメなど)のコラボ

●スライド13

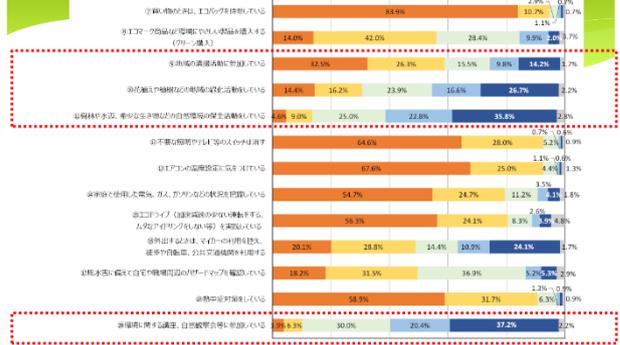
● 皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンが手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。

●スライド8

● 本日の討議テーマ その2

■ 環境活動への参加の状況 (小牧市の環境に関する意識調査(R5)より)



●スライド10

● 本日の討議テーマ その2

市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントアイデア、情報発信のアイデアは？

- 市民の省エネ行動やごみ減量の行動を習慣化させるための工夫・アイデア
- 環境イベントの参加率向上に向けた工夫・アイデア
- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫
- 継続できる活動でも、単発イベントでも、思いついたことを、まずは出し合ってみよう

●スライド12

● 本日の討議テーマ その2

アイデア出しのヒント

公式Facebook、公式X(旧Twitter)、公式LINE、公式Instagramの登録者数、公式YouTubeの再生回数を上げるための工夫

YouTube、インスタなどの画像、動画の活用アイデア

グループセッション意見概要

● Aグループ

出席者：

- 学生（7名）
- 小牧市環境対策課（1名）
- コンサルタント（1名）

【興味を持っている環境問題について（自己紹介）】

- 酸性雨、(地球温暖化の影響と考えられる) 自然災害の増加、気温が高くなっていることが気になっている。
- 小牧駅周辺はまちなみがきれいだが、少し離れた地区では放置されている樹林、竹林を見かけるので、改善できたらと思う。
- 学校で地域清掃を実施しているが、ごみのポイ捨てが多い。市民の人や地域の人を巻き込んで何とかできないかと思う。
- 登校途中にごみのポイ捨てが多いので、私たちのような若い世代がどのようにしたら美化に関われるのか気になる。
- 小牧山が近くにあるが、森林が減っていると感じている。
- 通学時に合瀬川にごみが落ちているのを見て、どのようにしたら川にごみが落ちないようにできるかが気になる。
- 川にペットボトルが落ちていること、カラスがごみをまき散らすことなどが気になる。

【ごみのポイ捨てについて】

- コンビニに燃えるごみのごみ箱しかないの、プラごみが捨てられないのでポイ捨てしてしまうのではないかと。プラごみ箱を設置すれば、減るのではないかと。
- ごみ箱を増やすのが効果的だが、回収の手間が増えるのではないかと。
- 中学の時に地域の清掃イベントに参加した時は、私たちのような若い世代も参加していて、終了時にジュースをもらった。インセンティブを与えれば、ごみの分別や地域の清掃などに若い人も参加してくれるのではないかと。
- インセンティブでもらったものを捨てる人がいるかもしれないので、根本的にプラスチックを使わない製品を増やしていくことが必要ではないかと。
- プラスチックを使わない製品を増やしていくことには同意。生活の中で無意識にごみを分別する習慣を定着させていくことが必要と思う。
- ごみ箱を増やすのは良い案だと思うが、こまめに回収しないとあふれてしまうので、そこが改善できれば良いと思う。
- 分別区分が分からないものがある。分かりやすい表みたいなのがあれば良い。
- プラスチックか紙が分からないものは、燃えるごみとして分別している。
- 小牧市では「さんあ〜る」という分別アプリを出しているが、正直知らない人も多い。市の公式ホームページからも検索はできる。

- 皆さんが居住されている街にも同じようなアプリや検索サイトがあるので、ぜひ活用してください。

【まちなかの緑について】

- 樹林は地権者が管理すべきものだと思うが、子ども会、町内会などと連携して対応できないかと考える。地権者が樹林の管理について相談できる場所が必要ではないか。
- 学校周りでも街路樹が少ない、切られているものも多い。
- インセンティブを与えるというのもあるが、人とのつながり、関りをつくっていくということが必要だと思う。町内会を活発にすることも有効ではないか。

【環境活動をする人を増やすアイデアについて】

- 能登地震をうけて、人は何かが起こらないと行動を起こさないものだと思う。体験的な取り組みがあっても良いと思う。
- 中学生、小学生が参加したら無料で遊園地チケットの配布などがあったら、親子で参加すると思う。親子で参加できる工夫が必要ではないか。
- 継続的に参加してもらうためには、家族同士、友達同士で参加しやすい雰囲気をつくっていくことも重要と思う。
- 全部の世代が参加するのは難しいと思うので、世代ごとに活動目的をつくるのが重要ではないか。
- 若い人の参加を促すのであれば、楽しみながらできるものが良い。若い世代は自然にふれあう機会もないので、自然を知るところから始め、徐々にレベルアップしていくような取り組みがあると良いと思う。
- 友達と行けると良い。参加して楽しければ、さらに（興味がない子にも）広められる。
- 環境だけにしぼられずに分野横断の講座などがあっても良いのでは。
- ひとりで行っても良いが、周りとなじめないという不安もあるので、友達同士なら参加しやすいと思う。
- ひとりでも気軽に参加できる講座があっても良い。
- 段階を踏んでいく活動というのが重要で、例えば小牧のことを知って、小牧の人たちとなじんでいくということが必要だと思う。
- 活動をしていくうえで達成感が味わえるものがあれば、継続的に参加できると思う。

【環境講座、環境イベントのアイデア、情報発信のアイデアについて】

- 市民まつりで環境に関するブースを出展すれば、訪れてくれる人も多いのでは。
- 人とともに育つまちという観点から、小さな時から植林するというようなプロジェクトがあれば参加してみたいと思う。
- ごみ箱に分別を確認できるQRコードを貼り付けておけば、その場で検索できるのでは。
- 環境について知ってもらうためのアニメ動画があっても良い。高校の美術部と協力しても面白いかもしれない。
- 分別アプリがあってもわざわざ見ようとは思わないのではないか。一目で分かるような商品をつくることも必要と思う。

- 環境問題について、わざわざサイト検索をすることはなかなかない。学校とか自分より上の人
が教えてくれることで知る機会が多い。
- 小牧工科高校には環境科学科があり、普段から授業で学んでいる。
- 小牧高校では週に1度SDGsについて勉強する機会があり、そこで環境のことについて学ぶこ
とが多い。
- たまたま目に入って興味を引いたものは調べる。
- 朝のニュースやYouTubeで知る。動画から知ることが多い。
- 市の公式YouTubeの再生回数をあげるには、ユーチューバーに協力してもらうことも良いかも
しれない。
- YouTubeは、サムネイルが大事。興味を引きつけることが大切。
- これを見ようと思うきっかけ作るのが重要では。広報大使などを雇って、日頃からSNSなどで
情報発信していけば良いのでは。
- TikTok、X（旧ツイッター）、インスタなど短い時間で見られる工夫をしてはどうか。
- 行政の動画そのものが面白くない。インパクトのあるものが良い。
- 動画の内容が全体的に硬いと思う。おもしろ、おかしく、ご当地キャラを使うなどの工夫をす
るなど、色々と企画を立ててみれば良いのでは。

【ワークショップの開催について】

- 自宅だと家族に聞かれるかもしれないので、参加しづらい。
- 土日は部活や用事があるため、平日のほうが参加しやすい。
- 学校で実施するイベントのほうがよい。

● Bグループ

出席者：

- 学生（7名）
- 小牧市環境対策課（1名）
- コンサルタント（1名）

【気になる環境問題】

- 小牧駅近辺のまちなみについて興味がある。小牧駅に芝生が整備され、人気のスポットになっている。
- 犬の散歩をしている時、たばこの吸い殻などのポイ捨てが気になる。
- 夏休みから豊田工業大学で再生可能エネルギーについて学び（県主催の「知の探究講座」）、太陽光発電のメリットだけでなく大量廃棄問題など目に見えないデメリットを知った経験から、環境に興味を持った。
- OSDGs部に所属しており、チョークを砕いてチューリップの肥料に使った体験などから再利用（リサイクル）に興味を持った。
- OSDGsの「貧困をなくそう」、「飢餓をなくそう」といったことに興味があり、ボランティアに参加したいと考えている。
- 家の前の公園にバスケットコートがあり、その利用者のポイ捨てが気になる。
- OSDGs部で再利用や自然に興味がある。

【身近な（小牧市の）環境の良いところ・改善してほしいところ】

◆良いところ

- 商業施設（ラピオ）のなかのこども未来館でモノづくりなどの体験ができることが魅力的。
- ラピオでは体験やトランプ、卓球などで交流する場所があるので、よく使う。
- 小牧駅周辺は人気な場所なので、きちんと整備されている。
- 図書館が小牧駅にできてから、よく使うようになった。
- 新しい図書館がとても使いやすい。
- 市長から子育てと環境に力をいれていると聞いて、いいなと思った。
- 自分の住むまちより、大通りが多く、車のスピードも速い印象がある。
- 小牧山の存在や、街なかに植栽があるので自然を感じつつも、商業施設が充実していて、バランスがある。

◆改善してほしいところ

- 駅からの通学路でたばこの吸い殻が多いように感じる。
- 都心から離れると、竹林が放置されていたり、ポイ捨てが多かったりと気になる。
- 人通りが多いからこそ、ポイ捨てなどが多くなってしまうのではないかと。
- 図書館をよく使うが、夜になると治安が悪くなる。
- 道が狭いので、自転車等を利用するときに危険を感じる。
- 名古屋空港が近いので飛行機の騒音が気になる。

【情報発信のアイデア】

- 体験への参加は、1人で参加しづらいので、友達と参加する。
- 学校を通じて、学生に向けて環境イベントの情報を発信してほしい。
- 使わなくなったものを再利用して作れる体験に興味を持つ。
- 使わなくなったものを使って、各高校の全校生徒でひとつの作品を作って、展示するのもいい。
- 再利用のコツを教えてくれるイベントがあると興味を持てる。小さく簡単な情報を気軽にシェアできるとよいのではないかな。
- ネットからの情報はすぐに忘れてしまうので、「体験」ができる方がふとした時に思い出して実践できる。
- 小牧山を活用したイベントが良いのではないかな。自然を感じられるマラソンなど。
- 年配の方の意見も聞いてみたいので、意見の募集箱を設置して、小牧山の利用者から意見を募ってみるとよいのではないかな。
- 植樹の体験をとおして、環境に興味を持ったので「体験」が重要だと思う。
- 植樹の体験は、木を植えることのメリットを学ぶだけでなく、親子で参加する。
- 会場を借りてイベントをする場合は、「体験」をメインにしてほしい。グッズの配布は気に入らなかつたらごみになってしまうので、やめた方がいいと思う。
- ごみ拾いで競争して優勝した人にはちょっとしたご褒美があるとよいのではないかな。高校でもテスト後にごみ拾いで競っていて参加すると楽しく感じるので、高校別対抗でやると楽しそう。

◆どんな SNS から情報を得るか

- YouTubeのショート動画やInstagramのリーク動画など、短い動画で情報がギュッと詰まっているものをよく見る。そこで興味を持ったものから長い動画を見てみる。
- 結局は、テレビから情報をゲットする。興味を持ったらネット検索するので、SNSは使わない。
- ニュース自体を見ない。YouTubeのショート、TikTokなど自分の興味あるものをみる。
- X（旧Twitter）をよく見る。
- 犬の散歩しているときに地域の掲示板を見る。
- 使っているSNSで流れてくるニュースを見て、いろんな人の意見を見る。
- YouTube、Instagram、Smart News、をよく使う。見出しと内容が異なることがあるので、見極めるために改めて検索したりする。
- 図書館は勉強目的でよく使うが、イベント会場には適していると思う。参加しやすい。
- テスト週間は学生が増えるので、狙い目かもしれない。
- 小牧市のHPを見たことがある人のきっかけは、小牧山のキャラクターを調べるためや、市長とのスクールMTGがあった際に小牧市限定月刊誌ぶるうむを確認するため、市のイベントを確認するためなど。

● Cグループ

出席者：

- 学生（5名）
- 小牧市市環境対策課（1名）
- コンサルタント（1名）

【気になる環境問題】

- 地球温暖化問題は、地球上の生き物全部に関わる問題で、普通にできていることがこれからはできなくなることを危惧している。
- 市内に鳥が増えてきており、ごみ収集所にカラスがおり、ごみが散乱してしまっている点気になる。
- リサイクルに興味があり、小牧市では取り組まれているが、他の市町村でも同様にリサイクルをしてほしい。
- ごみ問題や循環型社会の形成、食品ロスなどの身近な環境問題に興味がある。
- ごみのポイ捨てがあると、リサイクルが進まないの、それがなくなると良くなると思っている。
- 「池の水全部抜く」の番組をよく視聴するので、生物多様性に興味がある。

【身近な（小牧市の）環境の良いところ・改善してほしいところ】

◆改善してほしいところ

- 通学路の田んぼなどに、レジ袋などのごみのポイ捨てが多く見られるので、改善してほしい。
- 外来種が多い点を改善してほしい。
- ゲリラ豪雨や降雪量の減少など、昔よりも環境が変化してきていると感じている。
- 犬山市在住だが、犬山市と比較して生き物や自然のイメージがあまりない。

◆学校で行っているごみの分別

- 小牧工科高校では、燃えるゴミ、プラごみのごみ箱が教室にあり、文化祭時にはペットボトルも分別している。
- 小牧南高校では、燃えるゴミ、プラごみが教室にあり、自動販売機周辺にペットボトル、缶専用のごみ箱がある。また、古紙回収スペースも各所に設置されている。
- 小牧高校では、燃えるゴミのごみ箱が教室にあり、プラごみは持ち帰る。自動販売機周辺にはペットボトル専用ごみ箱がある。また、学校のSDGsの取組として、チューリップを植えたり、コンタクトケースのリサイクルを行っている。
- 誉高校では、燃えるゴミ、プラごみ、ペットボトルのごみ箱や、リサイクルボックスがある。

【情報発信のアイデア】

◆どんな SNS をよく使うか

(複数回答あり)

- YouTube 5名
- Instagram 4名
- X (旧Twitter) 5名
- TikTok 3名

◆どんなきっかけで、興味を持つか

- チラシ、パンフレットなどはあまり見る気にならない。インスタ、Facebook、LINEなどの公式アカウントがあるといい。
- 小牧市ならではの景色など、写真で目を引くようなものだと興味が出る。
- よく行くお店（ドンキホーテ、スターバックス、カラオケ、ラピオなど）にチラシやポスターがあると、目について興味を持つと思う。

◆どんな広報だと、目につきやすいか

- 環境問題のみだとトピックとしてくどいと感じると思う。風景写真など、目につきやすい情報を発信しつつ、環境についての発信も混ぜる形がいいと思う。
- 現在の小牧市の現状を、CMなどで市民の目に触れさせることがいいと思う。
- 検索エンジンで「小牧市」で検索することがないので、有名人の起用などで見てもらえるような工夫があるといいと思う。
- 文字や絵だけのポスターだと読まないの、4コマ漫画やクイズ、カメラのフラッシュで内容がわかるようになるなどの工夫をすると面白い。クイズなら、そのポスターから市のサイトに遷移すると答えがわかるなどにすれば、見てもらいやすいと思う。
- 小牧山城などに環境に関するポスターを掲載することもいいと思う。
- 飲食店などでは下を向くことが多いので、机に貼られていると目に付くと思う。カラオケであれば、出入り口のドアなどがいいと思う。
- 他の広報誌などに、環境に関することも1文付け加える。
- 高校でTikTokの配信を考えたことがあったときに感じたことだが、TikTokでよく目にするある高校があり、何故かを分析した。その高校では生徒に味があり、相手からその高校を検索させるような魅力があった。小牧市も、検索されるような広報があるといいと思う。



今後に向けて

参加学生の感想

- 市外に住んでいるので私には分からない環境問題もあったが、対策については一人では思いつかないようなことを意見交換できたので、みんなで話し合うことが重要だと思った。
- みんな思っていることは同じだと思ったが、改善する方法はいろいろ違ったので、人とのつながりを大切にすることが大事だと気付いた。
- 参加できて良かった。もっと段階的にいろいろやってみたいと思う。
- 色々な人の話が聞いて良かった。
- 同じ学校の人としか環境については話さなかったが、他校の人と意見が交わって良かった。
- 多くの学校と関われる場で意見を出し合えたことが良かった。議論できて良かった。
- 高校になってから行動範囲が増え、違ったアイデア出せて面白かった。
- こういう場は初めてだったが、一人で考えるよりもいろんな考えを知れてよかった。
- 自分以外の意見を聞くといろんな角度があって、いい経験になった。
- 人前で話すのが得意ではないので、少人数でよかった。
- こういう機会は初めてだったが、自分の意見と他の意見を併せて良い意見になったなと思った。

施策や情報発信方策への展開に向けて

個別具体のアイデア・意見については、今後検討予定の環境施策の展開方針や内容に活用させて頂くとともに、下記情報発信及び事業実施の現場における工夫、改善点、イベント等の企画アイデアとして参考にさせていただきます。

●興味をひきつける情報発信の方法の検討

- ・目を引き、興味を持ってもらえるようなポスターや動画の作成
- ・有名人、観光地などを活用した情報発信
- ・QRコードの貼り付けなど、調べてもらえるような工夫
- ・X（旧Twitter）などのSNSの積極的な利用
- ・図書館や商業施設（ラピオ）などの、市民が利用する施設との連携 など

●参加したくなる講座やイベントの企画、運営方法の検討

- ・植林やリサイクルなどの体験型講座やイベント
- ・市民まつりへのブース出展などの連動
- ・特典やインセンティブのあるイベントやプログラム
- ・小牧山などを利用した、自然に触れ合えるイベント など